

## ■ 各部会員への事前個別ヒアリング（令和3年6月～7月）を実施し、類似した内容をグルーピングしキーワードを抽出

### 1. まちの将来像・ブランディング

#### ■全般

- ・歴史、文化、芸術を活用した魅力づくりと杜とまちの連携が必要。
- ・将来に向けて、残すもの、新しくするもの、を明確にすることが肝要。趨勢を緩やかに捉え、流行に流されないものが良い。
- ・観光の観点では、回遊性、長時間滞留、環境整備、の3点が必要。
- ・御徒町駅～上野駅では、買い物を楽しむ、歩いて楽しい空間づくりが重要。直接触って買う機会があることが大切。
- ・コロナを理由に長期展望を描くことが難しい。短期のビジョンを持つことが大事。

#### ■アート

- ・上野をアートのまちにしたい。芸術を志す学生や若手を支援するまちにしたい。
- ・藝を育むまち同好会（藝育会）※1で東京藝大を中心に若手を応援する取組をしているが、アーティストの数はまだ少ない。
- ・将来、アーティストが「上野は自身の初めの一歩を踏み出した場所」と感じてもらえるといい。
- ・居酒屋でアートを語る光景がうまると良い。

#### ■上野公園、不忍池エリア

- ・杜とまちをつなぐうえで重要な資源は、上野公園・不忍池エリア、東京藝大のプレイヤー。
- ・湯島・御徒町も含めた不忍池エリアをブランディングしていきたい。

#### ■新たな価値の創造、世界への情報発信

- ・杜には多種多様な施設、歴史・文化が集積しており、「異質なモノの組み合わせ、関連付け、連動」がイノベーションにつながる。
- ・世界に発信するような、リ・ブランディングを検討したい。歴史・文化・芸術と商業との組み合わせも考えられる。
- ・大きなスペースがある上野公園はイノベーションを生み出す場となりうるのではないかと。

- ・杜とまちの連携
- ・歴史、文化、芸術の活用

### 2. テーマ、コンテンツ

#### ■行きたいと思えるテーマ設定

##### -新たなコンテンツ、四季の活用-

- ・来街者が上野に行きたいと思えるようなテーマ設定や目玉となるコンテンツ、四季を活用したアイデア出しが必要。
- ・これまでの来街者とは異なる層が訪れたいくなる新たなコンテンツづくりが必要。

##### <例：四季を活用した情報発信>

- ・清水観音堂から不忍池に至る空間は、季節ごとの情景が良い。四季折々の情報発信が考えられる。

#### ■アートを活用した例

##### <例：アートギャラリー>

- ・藝育会※1が、一定期間、物販店舗や飲食店舗にアーティストの作品を置かせていただくことで、店舗がギャラリーとなる「シタマチ.アートギャラリー」を開催している。利用者は気に入った作品を購入することができる。

##### <例：飲食とアートの取組>

- ・仲町通りのビルオーナー・商店主を中心に構成されるアーツ&スナック運動実行委員会※2が主催となり、空き店舗を活用した取組を展開してきた。

##### <例：音楽>

- ・不忍池エリアを活性化するため、音楽フェスを開催したいと構想している。様々なジャンルのアーティストを集めた「不忍池ムーンライトフェス」を計画中だが、今秋はコロナ禍で中止となった。
- ・江戸まちたいとう芸楽祭のような取組を上野でも行いたいという想いがある。

- ・足を運びたいと思うテーマ、新たなコンテンツ、情報発信
- ・四季を活用したアイデア
- ・上野らしいアート・芸術

### 3. プレイヤー

#### ■まちをプレイヤーに開放

- ・まちをプレイヤーに開放することは良い。
- ・仲町通りで行っている「芸術・アート」をテーマとした取組を広く展開していくために、上野公園エリアをプレイヤーに開放できないか。
- ・パンダ広場で開催された納涼会（パンダビアナイト）では、秋葉原で活動している方が仕切りをしていて、とても場が盛り上がった。そのような若い人が入ることで、もっと盛り上がる。

#### ■上野に求められるプレイヤー

- ・まちの様々な場所でアートビジネスが成立するような環境をつくっていくことで、将来的にアートが身近に感じるまちにしたい。そのためには、アーティストとビジネスの調整役を担えるキュレーターがいるといい。

#### ■上野のプレイヤーの状況

- ・商店会では、世代交代や外国人の参入により、まとめ役が不足している。
- ・まちの中にも様々な取組を行っている若手や活動的な人がたくさんいる。
- ・杜の各美術館・博物館は各施設の役割があり各キュレーターが担っている。現代アートは東京藝大が担っているといえるのではないかと。

- ・まちをプレイヤーに開放
- ・まちの将来像・ブランディングを実現するうえで求められる新たなプレイヤーの参画
- ・将来を担うまちのプレイヤーの発掘

### 4. 周辺区との連携

#### ■文京区、墨田区との連携

- ・不忍池エリアを周辺の街区に拡大することや、上野公園と谷根千や湯島との連携、ひいては、文京-上野-浅草-墨田の大きな範囲で考えることも必要。

### 5. その他

#### ■休憩施設、女性目線

- ・まちのなかに、来街者が住民とコミュニケーションをとりながら、まちの情報を得られる場所があると良い。
- ・女性目線（赤ちゃん連れ、トイレ等）が不足している。休憩機能と情報発信機能を兼ね合わせた場所があると良いのではないかと。

#### ■まち部会に期待すること

- ・まちの情報発信の強化を期待したい。

#### 文言の説明

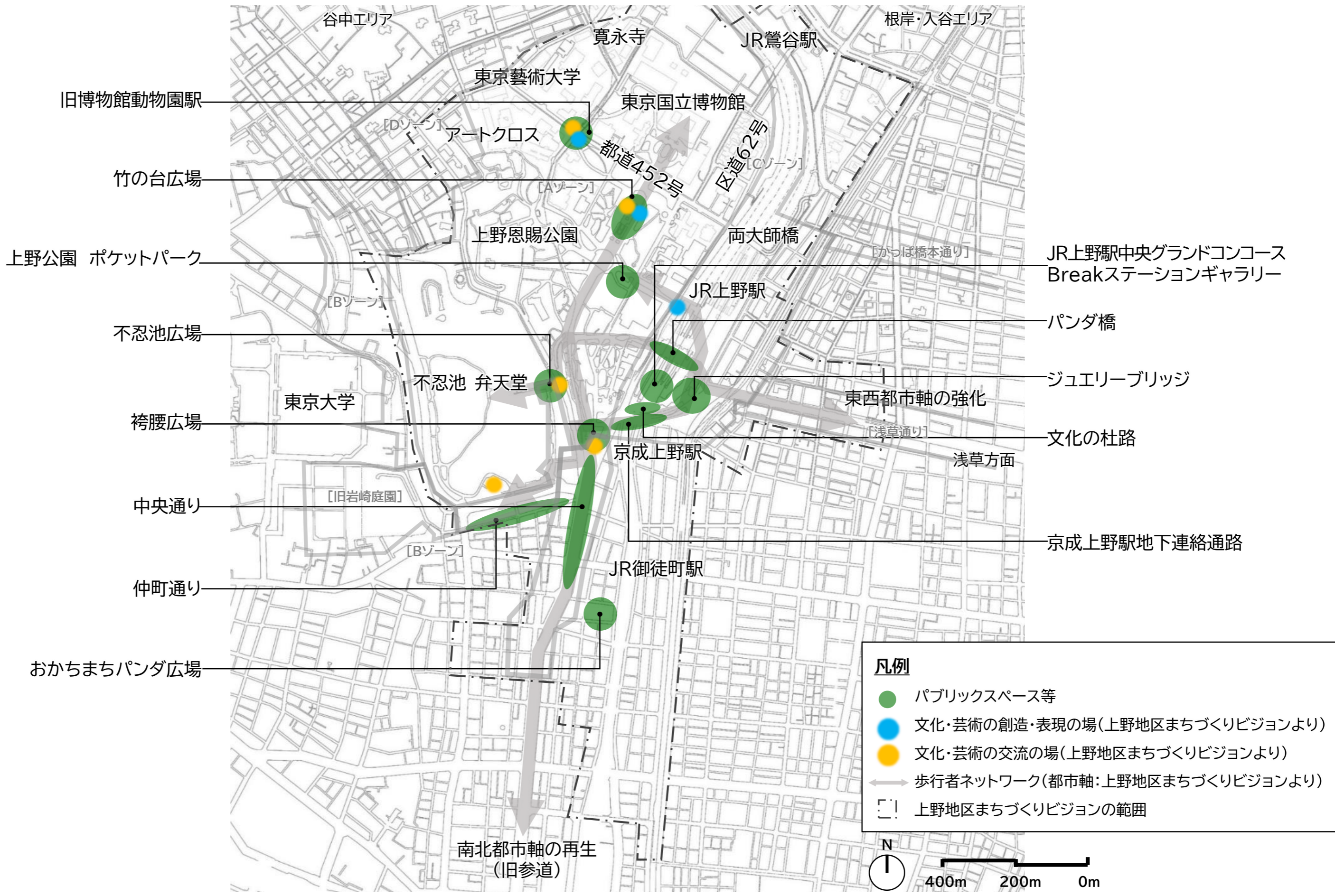
※1 藝を育むまち同好会（藝育会）  
上野・湯島・御徒町・根津・谷中・秋葉原といった上野界限にある店舗等が一丸となって若手アーティストとともにまちの活性化を目指す団体。  
(藝育会 HPより引用)

※2 アーツ&スナック運動実行委員会  
ビルオーナー、商店主、まちづくり専門家、大学、学生有志などで構成される。豊かなナイトライフと多様なアーツ（伝統技術・歴史・芸能・アーティストの総称）を掛け合わせて、“文化的歓楽街”としてのエリアイノベーションをめざす。  
(アーツ&スナック運動 HPより引用)

# まちづくり推進部会における検討状況について ~上野地区のパブリックスペース等※の分布状況~

※パブリックスペース等：公共的な空間と定義する

R3.9.1時点



上野地区のパブリックスペース等の活用状況の集計と特徴を抽出

1. 上野地区で活用実績が多いスペース (竹の台広場、おかちまちパンダ広場、JR上野駅中央グランドコンコース)

■上野公園 竹の台広場

公園

令和元(2019)年度 活用実績 計53件

[年間活用割合]

・年間36%(平日18%、土日祝74%)

- ▶ 土日祝の割合が高い
- ▶ 毎年開催されている恒例イベントで占められており、新規の活用は難しい (ヒアリングより)

[活用の種類の特徴※1]

飲食及び物販 **35%**

(物産展、骨董市、青森人の祭典、タイフェア、台湾フェスなど)

アート※3 **25%**

(うへの夏祭り、創エネあかりパーク、UENOYES、KOMOGOMO展など)

- ▶ 他地域交流の活用が多い。

[イベントの特性※2]

他地域交流 **36%**

(タイフェア、青森人の祭典、三陸なう、せとうちグルメフェスなど)

祭り、伝統季節行事 **23%**

(芸祭、KOMOGOMO展、ものづくり大賞審査会、JTCフェスタなど)

■御徒町 おかちまちパンダ広場

道路  
民有地

令和元(2019)年度 活用実績 計40件

[年間活用割合]

・年間47%(平日38%、土日祝65%)  
(イルミネーション(4/5~8/31、10/25~2/29 計約9カ月)は除く)

- ▶ 土日祝の割合が高い
- ▶ 毎年開催されている恒例イベントで占められており、新規の活用は難しい (ヒアリングより)

[活用の種類の特徴※1]

飲食及び物販 **52%**

(マルシェ、ピアニート、ふくしままつり、上野×東北フェスティバルなど)

アート※3 **3%**

(全国氷彫刻コンクール)

- ▶ 駅前の立地を活かした、飲食及び物販に係る取組が多い

[イベントの特性※2]

台東区らしさを活かした取組 **28%**

(モノマチ、手作り市、ジュエリーフェスタ、シタマチマルシェなど)

日常に寄与する取組 **25%**

(キッチンカー、ラジオ体操、フリーマーケット、防災フェアなど)

■JR上野駅中央グランドコンコース

駅施設

令和元(2019)年度 活用実績 計21件

[年間活用割合]

・年間18%(平日18%、土日祝17%)

- ▶ 平日と土日祝の割合がほぼ同等

[活用の種類の特徴※1]

物販 **71%**

(産直市(青森、山形、岩手、福島など)、バレンタイン、ホワイトデー)

アート※3 **5%**

(交通総合文化展)

- ▶ 東日本関連の産直市が多い
- ▶ 令和2年より、台東区共催のものづくりの物販イベント(したまち小粋マーケット)が行われ、これまでと異なる活用が始まった。※令和3年8月までに2回実施

[イベントの特性※2]

他地域交流 **81%**

(産直市、観光キャラバン)

祭り、伝統季節行事 **14%**

(バレンタイン、ホワイトデー)



SAMURAIフェスタ



日本伝統文化フェスタ



ラグビー応援イベント



全国氷彫刻コンクール



産直市



したまち小粋マーケット(令和3年)

出典: Let's enjoy TOKYO、アットプレス、JR東日本、台東ファッションザッカカフェ

※1 各パブリックスペース等における取組を、「飲食」「物販」「にぎわい」「スポーツ」「社会貢献」「アート」のジャンル別に分類、整理した

※2 各パブリックスペース等における取組を、「祭り・伝統・季節行事」「他地域交流行事」「台東区らしさを活かした取組」「日常に寄与する取組」の趣旨や目的別に分類、整理した

※3 ヒアリングでキーワードに挙がった「アート」に係る活用状況をパブリックスペース等ごとに比較した

【将来の活用の方向性】

- ▶ 上野の玄関口、集客力・情報発信力が高い立地を活かして、より上野の価値をあげていく取組が必要

-上野地区の各エリア(杜とまち)をつなぐ「テーマ」「コンテンツ」の検討

(例) イルミネーション等の季節催事、東北フェア等の他地域交流行事、まちの将来像で挙がった「アート」など

## 2. 杜のスペース

### ■上野公園 公園

#### <上野公園 ポケットパーク>

##### 【特徴】

- ・動物園前交番の前面に位置する。
- ・令和元(2019)年度 9件の活用あり。
- ・上野矯正展等、社会貢献に係る行為が多い。
- ・台東区と東部公園緑地事務所が連携して、地球温暖化防止への意識啓発を図る打ち水イベントが実施された。



たいとう打ち水大作戦(令和元年8月)

#### <不忍池広場>

##### 【特徴】

- ・上野動物園弁天門の付近に位置する。
- ・令和元(2019)年度 12件の活用あり。
- ・うえの桜まつり、うえの夏祭り等の祭り・伝統・季節行事が約33%と最も多い。
- ・シタマチ・ハロウィンは毎年開催され、不忍池広場及び周辺には多くの人を訪れる。



シタマチ・ハロウィン2019  
(令和元年10月)

- ▶ 竹の台広場(53件)に比べて使用頻度が低い

#### <袴腰広場、さくら通り等>

##### 【特徴】

- ・令和元(2019)年度、うえの桜まつり、うえの華灯路、マラソンなどの活用あり。
- ・主として貸し出されているパブリックスペースではない。

- ▶ 袴腰広場とさくら通りは、杜とまちをつなぐ役割
- ▶ 上野公園内でこれまで活用していなかった場所の活用検討・協議の可能性がある

(ヒアリングより)

#### <アートクロス>

##### 【特徴】

- ・旧奏楽堂、旧博物館動物園駅、東京藝大、黒田記念館の歴史的建造物に囲まれたスペース。
- ・これまでに、芸術の散歩道での藝大との連携のほか旧奏楽堂の前面の一部を活用した藝大アートマーケットの開催などがある。

- ▶ 上野「文化の杜」新構想において、周辺地域と上野公園をつなぐポイントとして位置づけられた、新たな賑わいのある文化拠点
- ▶ 令和3年より、新たな拠点整備と活用の方向性について上野文化の杜新構想実行委員会ハードワーキングにおいて議論が進められている

### ■旧博物館動物園駅 民間施設

##### 【特徴】

- ・文化・芸術の創造の場。平成30年、東京都選定歴史的建造物に選定され、京成電鉄と東京藝大が連携・協力して駅舎のリニューアルを実施。

(引用:京成電鉄ホームページ)

- ・平成30(2018)～令和3(2021)年度 計7件の活用あり。
- ・文化・芸術・アートに係る活用として、桜の街の音楽会などの音楽イベント、TOKYO REAL UNDERGROUND等のダンスイベント(無観客・映像配信)などがある。

- ▶ 50人未満、緊急時の避難経路を阻害しない、激しい動きのある行為は不可等のルールはあるものの、詳細は企画ごとに協議している
- ▶ 旧奏楽堂、黒田記念館、東京藝大などの周辺施設と連携し、更なる施設の有効利用について、検討している

(ヒアリングより)



アナウサギを追いかけて(令和元年2月)



さくら通り:  
全国氷彫刻展夏季大会(令和元年7月)



袴腰広場:  
さつきフェスティバル(令和3年5月)



水上音楽堂:UENOYES

出典:台東区、シタマチハロウィンSNS、NPO法人日本氷彫刻会、UENOYES

### [将来の活用の方向性]

#### ▶ 上野地区の価値をあげていく新たなスポットや魅力づくり

- 杜と周辺のまちをつなぐ役割を担う袴腰広場やアートクロス、上野公園内でこれまで活用していなかった場所など
- 旧博物館動物園駅など

### 3. 杜まち、まちのスペース

#### <Break station ギャラリー> 駅施設

**[特徴]**

- ・JR上野駅正面口の2階に位置する通路を活用した展示スペース。東京藝大のGAP(グローバルアートプラクティス)のキュレーションによる展示が定期的開催されている。
- ・GAP以外にも井野アーティストヴィレッジ、取手アートプロジェクトなど、東京藝大関連の展示がある。



Break station ギャラリー  
(令和3年7月)

アフターコロナの世界展  
(6/19~9/16)

#### <パンダ橋> 通路 駅施設

**[特徴]**

- ・杜とまちをつなぐ歩行者自由通路(駅施設・線路上空)。
- ・過去、上野商店街連合会主催で活用した実績あり。
- ・イベントの内容に応じて、電気・給排水等のインフラ設備の整備が必要。
- ・線路上空のため、JR東日本との事前協議が必要。



パンダ橋(令和3年7月)

#### <仲町通り> 道路 民間施設

**[特徴]**

- ・アーツ&スナック運動実行委員会※1による池之端仲町界隈の空きスナックの超短期利用、商店街の街路灯を立ち飲みテーブルに変えるガイトウスタンド、藝育会※2による店舗の一部を展示空間に変えるシタマチ.アートギャラリーなどの活用が行われている。

▶ 仲町通りでは、国交省のほこみち制度(歩行者利便増進道路) ※3の活用を要望している(ヒアリングより)



ガイトウスタンド

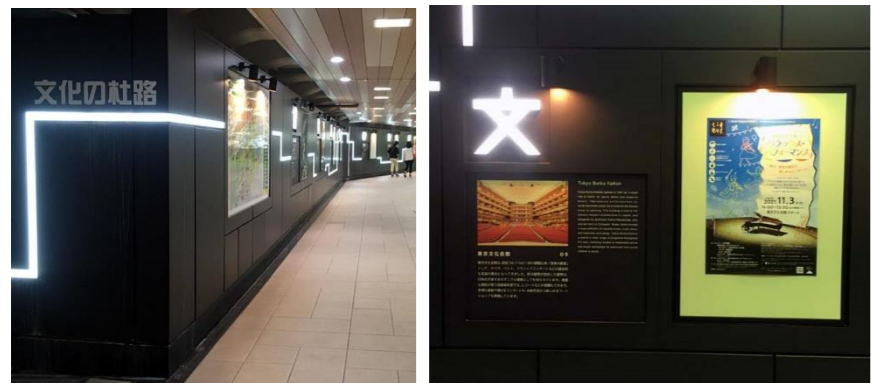
シタマチ.アートギャラリー

- ※1 ビルオーナー、商店主、まちづくり専門家、大学、学生有志などで構成される
- ※2 上野界隈にある店舗等が丸となって若手アーティストとともにまちの活性化を目指す団体
- ※3 道路への新しいニーズに対応し道路空間の活用をしやすくするための制度

#### <文化の杜路> 道路 民間施設

**[特徴]**

- ・東京メトロ銀座線改札付近の地下通路の壁面に設置された情報発信パネル。
- ・文化の杜の各施設情報及び展覧会の情報発信を行っている。

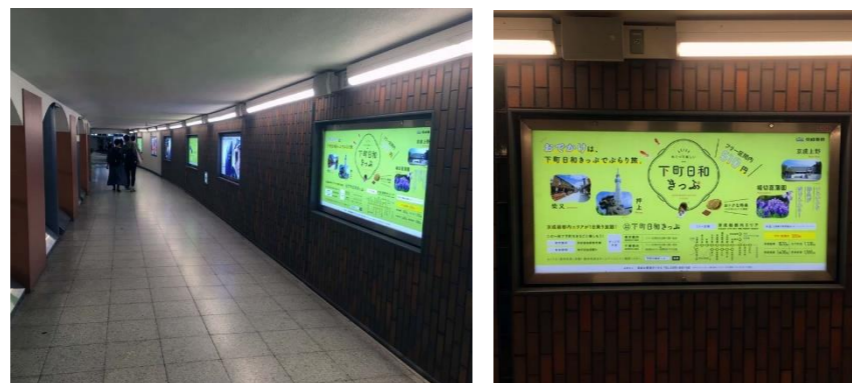


文化の杜路(令和3年8月)

#### <京成電鉄地下通路> 道路 民間施設

**[特徴]**

- ・京成上野駅と東京メトロ銀座線上野駅を結ぶ地下連絡通路の壁面広告。



京成電鉄地下通路(令和3年8月)

#### <アメ横センタービル> 民間施設

**[特徴]**

- ・空き店舗を活用したギャラリースペース。令和3(2021)年より藝大生の展示会などが開催されている。



肉展(4/11~25)

現代アート展(7/17~25)

〇〇〇〇ツ〇展(9/3~5)

出典:アーツ&スナック運動SNS、藝育会SNS

**[将来の活用の方向性]**

- ▶ 上野地区の価値をあげていく新たなスポットや魅力づくり
  - 杜とまちをつなぐ役割を担うパンダ橋など
  - 道路空間や民間施設を活用した魅力づくり、情報発信の強化など

◆ 空間の意味を改めて問い直して、空間の価値を高めていく

**「場所の特性を活かして空間の価値を高める」**

- ア.パブリックスペース等の個性を整理したうえで、今後の上野地区における位置づけや意義の検討
- イ.これまでのパブリックスペース等のイベントの意義や評価、使い方そのものの適材適所な活用方針や空間の適正化の検討
- ウ.休憩・案内・飲食など、来街者が上野地区で一日過ごすことができる機能・空間などの検討
- エ.上野地区のパブリックスペース等に来て欲しいターゲット層の設定と魅力づくり
- オ.パブリックスペース等の利用希望者にとって、利用したい取組みの種類と空間が適切にマッチングするポータルサイト等の仕組みの構築

**【目指すべき将来イメージ】**

『パブリックスペース等の適材適所な活用方針及び空間の適正化を図ることによる、まちの魅力向上の実現』

◆ 未来の上野らしい文化を育むベース

-空間とともにアクティビティをセットで考える-

**「新たな魅力を育て・広げる」**

- ア.上野の新たな魅力を育て・広げるうえで、今後新たにきて欲しい来街者や既存の利用者で増やしていきたいターゲット層の検討
- イ.他都市のまちの魅力を向上する取組みや最新の取組みを確認したうえで、上野の新たな魅力を付加する取組みや上野に足りない取組みについての調査・分析
- ウ.他都市との差別化を図りながら、これまでと異なる価値を生み出すコンセプト設定など、「既存の歴史・文化・芸術×“〇〇”=新たな魅力」を育み、実現するために必要な地域ブランド戦略の検討

**【目指すべき将来イメージ】**

『「既存の歴史・文化・芸術 × “〇〇”=新たな魅力」を育み、実現するために必要な地域ブランド戦略を設定・共有することによる、まちの価値向上の実現』

◆ アクティビティをトータルでマネジメントする機能

-アクティビティ相互の連携、回遊性の向上、情報発信、相乗効果の創出-

**「イベントの連携により回遊性の向上を図る」  
「上野の魅力を効果的に発信する」**

- ア.上野地区全体で連動・連携することにより、回遊性向上・長時間滞在に寄与する、タイムリーなイベント、テーマ、コンテンツ、季節イベントや年間スケジュールなどの検討
- イ.上野地区で一日滞在してもらえるような、ターゲット層の設定と既存とも連携したモデルコースの検討
- ウ.共同イベントの開催やイベントの連携、効果的な情報発信などによる寄り道したくなる取組みの検討
- エ.各プレイヤーが連動・連携し、相乗効果を生み出すネットワーク型のマネジメント体制の構築の検討による上野の魅力を効果的に世界に発信する取組みの検討

**【目指すべき将来イメージ】**

『上野地区全体で連動・連携した共同イベント開催による、まちの回遊性向上の実現』  
『共通案内板やペナント設置などの効果的な情報発信による、まちの回遊性向上の実現』

◆ 既成概念の様々な境界を越える

**「多様な相乗効果を生み出す」**

- ア.上野地区において、公共と民間の境界線を取り払った時に、実現していきたいアクティビティ、景観などの将来像の検討
- イ.パブリックスペース等において、具体的な提案をもとにした、実証実験の試みや新たなルール・使用方針の見直しの検討

**【目指すべき将来イメージ】**

『既成概念にとらわれない新たな枠組みの構築による、多様な相乗効果創出の実現』

- まちづくり推進部会に関連し、アイデア抽出と人材発掘のためのワークショップ等を開催する体制として、上野地区の将来を担う若手店主等を中心とした「(仮称)ワーキンググループ」を立ち上げる。
- (仮称)ワーキンググループでは当面、第2回まちづくり推進部会の検討テーマの「未来の上野らしい文化を育むベース」等について、意見交換を行う。
- (仮称)ワーキンググループのメンバー構成は、杜とまちよりそれぞれ複数人選出し、多様な意見交換やアイデア出しができるように留意する。

注:個別地区の道路活用や景観(広告物・色彩等)ルール作成などは、多様なまちの主体が中心に検討するもので、それを区が個別に支援するため、ワーキンググループの検討対象外とする。

### まちづくり推進部会

検討テーマや具体的なアイデアなどの提案や共有、活動の支援

### (仮称)ワーキンググループ

※意見交換をしやすい規模として、8～10名程度を想定する。

杜のプレイヤー、まちのプレイヤーで構成(まちづくり団体、文化施設、学術機関、店舗、商業施設などの関係者)

### ワークショップ等の開催

※ワークショップ等の取組み方法や回数などの詳細は(仮称)ワーキンググループで検討・協議し進める。

当面の検討テーマ例:上野地区の新たな魅力を育て・広げるためには、どうしたら良いでしょうか!?

(例)

- ①上野地区の将来像として、ターゲット層の設定、他都市と異なる上野地区の独自の魅力について
- ②既存の歴史・文化・芸術 × “〇〇”=新たな魅力となるコンテンツについて
- ③将来像の実現に向けた取組みで必要なこと など

検討、実践・実証実験の積み重ね

“できるところから取組む”をテーマに、試行内容を検証しながら積み上げていく

上野地区全体で上野の魅力を向上させる取組みの実現